



しげの がっく 滋野学区



学区の概要

滋野学区は、下長者町通（鷹司小路）、烏丸通（烏丸小路）、丸太町通（春日小路）、堀川通（堀川小路）によって囲まれた地域です。かつて平安京の頃は、大内裏に近接し、比較的土壌条件等もよかったため、律令政府の役人や技術職員たちが居住し勤務する官衙町および高級貴族の邸地となりました。

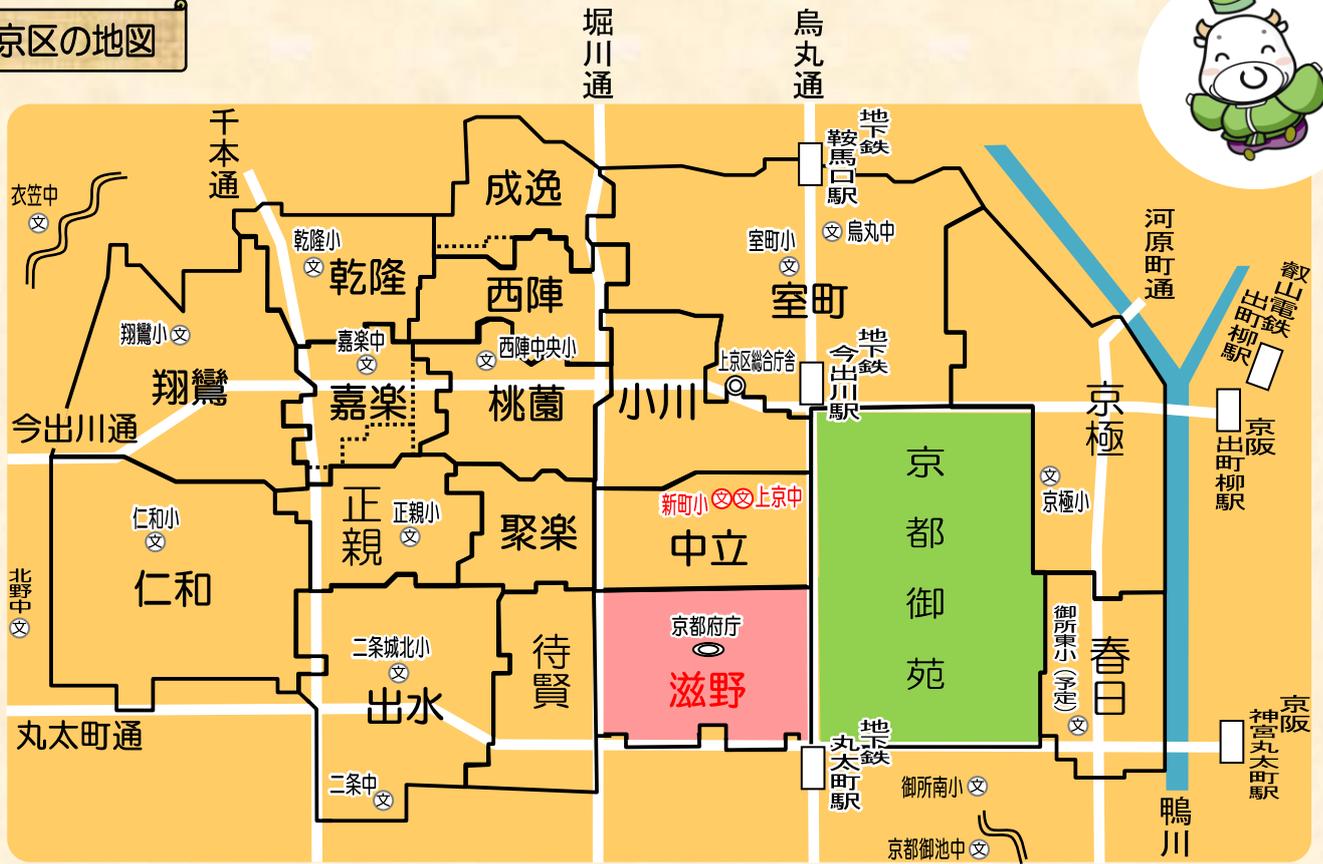
官衙町の周辺には、その空間を埋めるようなかたちで、貴族の邸宅が建てられるようになっていきました。また、西部では、本院、滋野貞主邸、高陽院、東部では菅原院、近衛殿、枇杷殿などが著名なものといえます。平安時代中期以降、高陽院や近衛殿なども、しばしば里内裏となり、王朝政治の舞台となりました。衰退期とはいえ、政庁の場として組み込まれたことにより、この地区が急速に発展したことは、充分うかがわれます。

しかし、応仁の乱などによる戦乱によって、古代的景観はまったく失われ、このあたりは武家の陣所へと変貌していきます。代表的なのは斯波氏（武衛派）の館で、その武衛陣が修築されて、将軍足利義輝の武衛陣第（室町御所）に。そこがまた織田信長によって拡張され、将軍足利義昭の御所となっていきます。しかし、政情不安な時代に武家の陣所となることは、そこが戦場ともなることを意味し、事実、義昭と信長の対立から、この地は戦場となって荒廃していきました。

その後、豊臣秀吉による都市改造を経て、江戸時代には、禁裏、公家町に近接する町人の街として発展。ここには両替商や幕府・諸大名の呉服所、用達所などを請け負う特権的御用町人が、数多く軒を並べていました。

こうした御用町人たちは、興亡が激しく、また競合心も強かったから、町組や町の運営も相当難しかったみたいです。もちろん、大町人の没落と拮抗するかのようになり、堅実な町人たちも勃興したし、伊藤仁斎のように地域にしっかり根をおろした文化人も育ちました。この地がたびたびの火災で繰り返し焼亡しつくされたことや、幕末の広大な京都守護職邸設置によって多くの町が廃町となったこと、また明治以降、京都府庁に隣接する地が、種々の官公府舎となり、市民生活の場が制限されていったことも、町の歴史的な性格形成に大きな影響をあたえたことは確かです。

上京区の地図



学区を代表する団体

滋野団体連合会

学区の主な行事

- 滋野学区ふれあい夏まつり
- 滋野学区体育祭
- 新春もちつき大会（滋野学区）
- 滋野学区自主防災避難訓練
- 滋野元気フェスタ
- 滋野学区移動式回転式廃棄物回収事業（年1回実施）
- 滋野学区敬老者，米寿者，成人者の祝い事業実施
- 滋野学区校庭，近隣周辺の雑草の清掃（年1回実施）
- 滋野学区ごみ減量バスツアーで京都市リサイクル工場見学

（発行）上京区役所 地域力推進室 まちづくり推進担当
電話 441-5040